

第 11 回社会活動事例報告会に関するアンケートの報告

令和 4 年 6 月 21 日

広報小委員会

社会委員会主催の第 11 回社会活動事例報告会（令和 4 年 5 月 27 日、Web 配信）について、今後の運営に生かすために、参加者に対してアンケート（Google Forms 利用）を実施したので、その結果について報告する。なお、昨年度（第 10 回）と同じ質問については、結果を比較して示した。

1. アンケートの回収状況

提出されたアンケート数は 55 件であり、参加者数（66 件）に対する回収率は 83%である。

なお、当日に、アンケートの半分近くが提出されているが、翌週に催促メールを出してもらうことにより回収率がアップしている。

表 1 アンケートの回収状況

a) 過去の事例発表会との比較

区分	形態	参加者	アンケート回収数	回収率
第 11 回	Web 配信(有料)	66	55	83%
第 10 回	Web 配信(無料)	263	189	72%
第 9 回	集合	35	27	77%
第 8 回	集合	36	28	78%
第 7 回	集合	56	46	82%

注) 第 7～9 回は講師を含む

b) 経過日数ごとの回収状況

区分	第 11 回		第 10 回		備考
	件数	比率	件数	比率	
当日	24	44%	100	53%	事例発表会(R4/5/27)
翌日	0	0%	13	7%	土曜
2 日目	0	0%	3	2%	日曜
3 日目	1	2%	52	28%	(第 10 回：催促メール)
4 日目	18	33%	7	4%	事務局催促メール
5 日目	6	11%	8	4%	
6 日目	3	5%	3	2%	
7 日目	2	4%	3	2%	回答期限(R4/6/3)
8 日目以降	1	2%	-	-	R4/6/6 終了
計	55		189		

2. 回答者の属性（質問1, 2）

アンケートの回答者の年代等は、次表のとおりである。

表2 回答者の年代

年代	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
20歳代	0	0%	0	0%
30歳代	0	0%	4	2%
40歳代	6	11%	23	12%
50歳代	16	29%	40	21%
60歳代	21	38%	83	44%
70歳以上	12	22%	39	21%
計	55		189	

表3 回答者の立場

立場	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
技術士	54	98%	183	97%
修習技術者	1	2%	6	3%
計	55		189	

表4 回答者（技術士）の技術部門（複数回答可）

a) 技術士の技術部門

技術士の技術部門 (複数回答可)	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
機械	1	1%	15	5%
船舶・海洋	0	0%	1	0%
航空・宇宙	1	1%	0	0%
電気電子	1	1%	29	10%
化学	2	2%	8	3%
繊維	0	0%	1	0%
金属	1	1%	6	2%
資源工学	1	1%	0	0%
建設	26	30%	74	26%
上下水道	8	9%	15	5%
衛生工学	1	1%	3	1%
農業	3	3%	13	5%
森林	0	0%	3	1%
水産	2	2%	4	1%
経営工学	4	5%	9	3%
情報工学	5	6%	7	2%
応用理学	7	8%	12	4%
生物工学	2	2%	3	1%
環境	2	2%	11	4%
原子力・放射線	0	0%	0	0%
総合技術監理	19	22%	63	22%
未記載	1	1%	6	2%
計	87		283	

b) 記載部門数

記載部門数	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
未記載	1	2%	6	3%
1部門	34	62%	113	60%
2部門	10	18%	51	27%
3部門	8	15%	14	7%
4部門	2	4%	4	2%
5部門	0	0%	0	0%
6部門	0	0%	1	1%

3. 社会活動事例発表会への参加状況（質問3）

参加したことがあるとした方が36%にのぼり（表5）、過去の事例発表会と比べても、リピータが多かった。昨年度の発表会（第10回）において、新規の参加者が多かったことが影響していると考えられる。

表5 事例発表会への参加状況

過去の参加	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
参加したことがある（2回以上）	9	16%	13	7%
参加したことがある（1回）	11	20%	13	7%
今回初めて参加する	35	64%	163	86%
計	55		189	

質問：3. 過去に社会活動事例発表会（第1～10回）に参加されたことがありますか（選択・必須）。

表6 第7-9回事例発表会の参加状況

過去の参加	第9回	第8回	第7回	計（件数）	比率
参加有	6	5	7	18	26%
参加無	10	17	23	50	74%
未記載	11	6	16	33	
計	27	28	46	101	

4. Web 配信（質問4）

5段階評価（質問4-1）では不満とする割合は1割程度であり（表7）、自由回答の意見（質問4-2）でも肯定的な意見が多かった（別表1参照）。地方や遠隔地でも参加しやすい、時間・場所の制約が少ないことから、引き続き Web 配信を希望する声が高い。また、具体的な意見としては、運営に対する不手際についての指摘があった（表8）。

表7 Web 配信の評価（5段階）

Web 配信の評価	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
不満	0	0%	3	2%
やや不満	6	11%	12	6%
どちらともいえない	10	18%	31	16%
やや満足	23	42%	80	42%
満足	16	29%	63	33%
計	55		189	

質問：4-1. Web 配信（Microsoft Teams）について、5段階で評価をお願いします（選択・必須）。

表8 Web 配信における主な指摘事項

指摘事項
参加者のカメラをオフにすることを徹底する必要がある。
共有画面の中断などの不手際があった。また、トラブルに対する状況説明が遅かった。
時間管理がうまくできるような仕組みづくりが必要だと思う。
運営をもう少しスムーズにしてほしかった。
質問はチャットだけでなく、音声でも受け付けた方がよい

5. 会員限定・有料開催（質問5）

有料開催についてはおおむね肯定的な意見が多かったが、価格の設定等について課題があるとする意見もあった。また、会員限定としたことについては、技術士の活動を広く知ってもらう点から一般の方の聴講も考慮した方がよいとする意見があった（別表2参照）。

質問：5. 今回の事例発表会は、日本技術士会会員に限定して、有料（参加費 1000 円）で実施しましたが、この点についてご意見があればお聞かせください（自由回答）。

6. 発表内容（質問6）

発表内容については、不満としたものが5%以下であり大きな問題はなかったと考えられる（表9）。なお、全体的な意見については別表3に掲載した。

表9 発表テーマ設定（5段階）

発表内容	件数	比率
不満	0	0%
やや不満	3	5%
どちらともいえない	13	24%
やや満足	25	45%
満足	14	25%
計	55	

質問：6-1. 発表内容について、5段階で評価をお願いします（選択・必須）。

7. 社会活動への参加（質問7）

アンケート回答者の社会貢献のための社会活動への参加については、次のとおりである。参加しているまたは参加したいとする方が6割以上いることから、事例報告会の意義は大きいと考えられる（表11）。

すでに参加しているとした方が実際に参加されている活動としては、教育関係、地域の活動があがっている（別表4参照）。

表10 社会活動への参加

社会活動への参加	第11回		第10回	
	件数	比率	件数	比率
すでに参加している	8	15%	55	29%
参加したいと思っている	25	45%	106	56%
今のところ考えていない	18	33%	28	15%
未記載	4	7%	—	—
計	55		189	

質問：7. 社会貢献のための社会活動への参加についてお聞きします（選択・必須）

表11 第7～9回事例報告会の社会活動への参加

社会活動への参加	第9回	第8回	第7回	計	比率
すでに参加している	12	9	12	33	33%
参加したいと思っている	9	10	21	40	40%
その他	3	7	9	19	19%
未記載	3	2	4	9	9%
計	27	28	46	101	

8. 社会活動への意見（質問8）、その他の意見（質問9）

社会活動について、日本技術士会への期待等の意見について、別表5に示した。社会貢献活動の継続的な実施等を求める声があった。

また、その他ご意見について、別表6に示した。

（担当：櫻井正明）

別表1 Web 配信に対する意見（参考として評価別に全文を掲載）

評価	Web 配信についての意見
やや不満	Youtube Live 等の一方通行にしたほうがよい。カメラ機能を ON にしたままの参加者や講演者と事務局のやり取りなど知らない情報が入ってきてストレスになる。
	ウェブ配信はぜひ継続していただきたい
	映像ダウン等のトラブルに対する状況説明が遅い
	手軽で良いが、カメラ off 等徹底されていない。 無用なカメラオンの参加者のカメラを、管理者がオフにできないのですか？
どちらともいえない	画面で資料を読み、且つ印刷も、となると煩雑すぎる。
	私も仕事で Teams を使用していますが共有が途中で途切れたりする経験はありません。何か操作方法上で徹底出来ていない問題があるのか再確認をされた方が宜しいかと思ひます。
	特に問題なく聴講できた。質疑応答、意見交換の活性化には課題が残る。
やや満足	(1) 発表者の講演に集中できる、(2) PP. の資料が画面で詳細までよく見える、(3) 会場までの移動時間と経費が最小で済む、(4) 運営については、もう少しスムーズな進行がほしかった。
	・ウェブ配信（対面とのハイブリッド開催形式）は、有効・有用につき一層の慣熟・ブラッシュアップを期待します。
	・情報共有画面の中断不手際が数回生じたが、完全回避は不可能にせよ通信環境の堅牢さと中断発生時の人的なケア態勢の改善努力をお願いいたします。
	この形式でないと参加できないので満足。
	移動時間がかからず、内容もじっくり確認できます・
	遠隔の方も参加しやすく良い方法だと思います
	遠隔地からの参加が可能であり田舎に居住するものにとっては非常にありがたい
	今後更に活用すべき
	質問はチャットだけでなく、音声でも受け付けた方がよいと思ひます。
	多少のトラブルは問題にする必要はない。十分聞き取れる内容の配信であった。
	地方からの参加者にとっては大変ありがたいです。
	地方会員も聴講できるメリット大にて継続を切望します。
	地方在住者にとって非常に助かる手法である
	特になし
特に無し	
問題ないと思ひます。	
問題ないと思ひう	
満足	コミュニケーションが難しい中、お疲れ様でございます。ご対応頂き大変ありがとうございます。
	まれに、進行がうまくいかない時がありますが、許容範囲内だと思います。
	遠方でも参加できる事や会場までの移動時間が不要で、有難い。
	画面オフ等の聴講者側の操作慣れが課題
	各セッションの時間管理が上手くできるような仕組みづくりを行った方がよいと思ひました。
	最適です。ZOOM でも OK です。
	使いやすいです
	自宅に居ながら、会場と同じ緊張感で勉強させていただきました。
手際よく操作できるようになれば、全く問題なし。	

	途中途切れる場面もありましたが、短い時間であり問題になるレベルではないと感じます。
	特に不都合ありません
	特に問題なく使えています。
	北海道在住でも色々な専門の技術士の方の活動報告が直接聴講できるのでこれからも参加したい。

別表2 会員限定・有料開催に対する意見（参考として主たる意見を掲載）

区分	主たる意見
有料 (妥当)	どのような形であれ、経費はかかるので、必要経費分は徴収でよいと思います。
	よろしいのではないのでしょうか。
	技術士会の知名度向上を目的とされているなら妥当と思います。
	許容範囲です。
	研修会としては、適切と思います。
	行事の継続性を確保するために致し方ないと思う。
	事務局側の準備に経費も必要であり妥当
	自分はこれで良いと思います。
	妥当であるし、以前なら出張しての参加であったことから安価で済ませられる
	適切な料金です。
	特に不満はありません
北海道本部でのセミナー、シンポジウムも参加費は千円なので妥当な参加費と思います。	
有料 (課題あり)	1,500円や2,000円もあり、そのような中で良心的ですが、価格の設定の明確な取り決めに日本技術士会全体の中で規格化し、HP.に公表することを希望いたします。
	内容的に有料で良いかは微妙
	無料が望ましいが、千円程度ならやむを得ないと考える。
	この種の発表会はPR効果も兼ねると思うので無料でいいのではないか。
	会場費用が無いので、もっと安くても良いと思う。500円くらい？
	参加費は徴収しても良いと思いますが今回の内容（20分程度）では割高感がある様に感じました。
有料としては高い	
会員限定	技術士の活動を広く知ってもらおう観点では一般の方も聴講可能として良いと思います。

別表3 発表全体に対する意見

区分	発表全体に対する意見
内容	<p>・コロナ禍でリモート開催となったが、これを新たな常態とするに、主催社会委員会殿と発表者一同の講演後の Teams 反省会などがあっても良いのではないのでしょうか。発表の成果、発表者には情報や名声面で様々な恩典を与えるべきではと思います。</p>
	<p>活動の中から、何を感じ、これから活動される方に対しどのようなアドバイスをするか、といった内容が含まれていると尚良かったと思います。</p>
	<p>技術士としての社会貢献活動の在り方の参考になりました。</p>
	<p>技術士の社会貢献に対する考え方を学びました。</p>
	<p>中間休憩が突然に始まり、画面が真っ黒になり放送事故かと心配しました。休憩時間の表示やプログラムを放映する等の休憩時間中の配信方法も検討してほしいです。我々の WEB 講演会の待ち時間には、BG. に音楽を流しています。</p>
	<p>同じような趣旨・テーマで、各専門部会ごとに特化したものがあったても良い。</p>
	<p>発表スタイルは、やはり練習が必要、と思料しています。</p>
	<p>発表以外でのトラブルは避けたい。</p>
時間	<p>20 分の発表というのは話題の切り替わりが早く、聴講する側としても負担にならなくて良いと思いました。</p>
	<p>各発表時間をもう少し長くし、質問はチャットで後日発表者から回答を受ける方法を検討してほしい。</p>
	<p>個々の発表で時間が不足した場合、質問は teams のチャットで受付、後日または本会の終了までに回答でもよかったと思います。</p>
	<p>内容については非常に興味深いが発表時間が短い</p>
	<p>発表テーマは少し絞って頂き、発表時間を多くして頂きたい。</p>
	<p>発表者によっては、時間が短すぎる感じた。もう少し時間的な余裕をもって、丁寧な講演を聞きたかった。みな同じ時間にする必要はないのではないかと感じた。</p>
評価等	<p>皆様地道に活動をされていて、素晴らしいと思いました。</p>
	<p>企画ご苦労様です。</p>
	<p>技術士は一般世間には、マイナーな資格であるが日本の科学技術の根底を支えていることを実感。次世代の人たちや海外から就労している人たちにも是非この資格を取って、科学技術の発展に寄与していただければと願います。</p>
	<p>技術士会の組織図と活動を知ったのは最近です。申し訳けなく恥じております。</p>
	<p>私も専門分野で少しでも、役に立ちたいと思っております。今回の発表者に感謝しております。</p>
	<p>事務局の皆様お疲れさまでした。webでの進行はトラブルが発生しやすく、どの会でも苦心して運営されていると思います。若干のトラブルは致し方ないと思います。発表者の中に謙虚さにやや欠ける方がおられたのは残念。</p>
	<p>自己の活動へどうフィードバックすべきかが課題と感じました。</p>
	<p>全体的に、課題を見つけ、その対応策を実施した例を発表して頂いたが、いずれも素晴らしいものであった。面白かった。</p>
	<p>多くの技術士の社会活動をお聞かせいただき有難く思います。</p>
	<p>多彩な活動事例を聞くことができ、自分に何ができるか考えられました。 多彩な分野の素晴らしい活動事例を集められ、たいへん有意義な紹介を頂き感謝します。</p>

内容は多岐にわたり参考になる。

別表4 参加している社会活動（参考として全文掲載）

*すでに参加していると回答された方への質問

区分	参加している社会活動
教育	県支部の組織体として、地方（千葉県）の青少年向け科学教育支援活動
	子どもへの科学イベントの実施、同様な各種イベントへの参画
地域	自治会活動
	地域の防災活動に参加しています。
	地域リスクファシリテーション
支部活動	関東県支部の活動に参加しています（講演会運営、企業技術相談会参加、各種自治体依頼の審査員応募等を少々）。
受験指導	技術士試験受験者への添削等のアドバイスをボランティアで行っている

別表5 社会活動への参加に対する意見（参考として全文掲載）

社会活動に対する意見
この様な事例紹介がこれから社会貢献を目指す会員の励みと参考になります。
事例紹介
色々な分野の全国の技術士の方々が社会貢献活動をしていると思います。これからもこのような発表の場を多く設けていただきたいと思います。是非聴講させていただきます。
公共の利益を大事にする技術士として大事な活動だと思います。技術士の認知度向上にも役立ちます。
今後も、社会貢献を常に念頭に置きながら、活動すべきだと思います。
技術士の立場向上
今回の事例を外向けに広報してはいかがでしょうか。技術士の知名度アップになるかと思います。
金銭的な支援を、簡単に出来るようにお願いしたい。
機会のあっせんなどを積極的に実施願いたい。
照会、斡旋があると参加しやすい
自分は建設部門ですが、国土交通省を中心とした産官学の取組等で、どうしても最新技術が導入しづらい地域や地域の中小建設企業への準最新技術的な事例があれば良いと期待します。
個人事務所の開設に対する支援を分かり易く、丁寧に回数を多く開催してほしいです。現在の各委員会やグループ主催のセミナー等は料金が高く、また専門性が高く、敷居が高く感じて顔を出しにくく感じます。気楽に夕涼み気分顔を出せる場がほしいです。
<ul style="list-style-type: none">・世代の若い人を主ターゲットに、未所属技術士に対する日本技術士会入会実践の強化・土業連携、産学（特に博士課程者）連携を踏まえた、インキュベーター施策への関与

別表6 その他の意見（参考として全文掲載）

その他の意見
この様な発表会の継続をよろしくお願い致します。
企画運営、大変にご苦勞様です。このような会員のための企画は、ぜひ絶やさず継続をお願いいたします。
今回の事例発表会は、面白く、有意義であった。
発表者の皆様に敬意を表します。ありがとうございました。
社会活動に参加している実践事例の講演を聞くことができ、大変勉強になり刺激を受けた。
事務局の方々は大変だと感じました。お疲れ様です。
社会委員会の委員の皆様の準備、運営ご苦勞様でした。これからもよろしく申し上げます。
技術士の知名度向上を発言される方が多いですが、知名度は誰かが上げてくれる物では無く良い仕事を実践し相手先から感謝されて初めて知名度は上がると考えております。其の為にも幅広い分野に精通する必要があり日本技術士会がリスキリングのフィールドを創って頂くと有り難いです。
建設部会ももっと e-learning による CPD 取得機会を増やして欲しい。広く他分野を学ぶのも良いが、専門知識の方に興味の重心を置く者には選択肢は多くない。
会員増のためにも年会費を半額にして下さい。